

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-111	小学校	外国語	英語	第5学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
9	英語 503	Junior Sunshine 5		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法、学校教育法の精神を教材の中で具体化するとともに、学習指導要領に示された目標と内容に沿って、外国語を使って豊かなコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を養うことを目指し、以下の3つの基本方針を設定しました。

①  
意味のある、  
生きたコミュニケーション

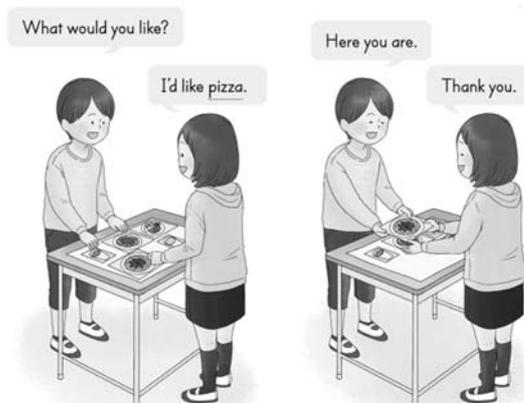
②  
「読むこと」「書くこと」  
の基礎を養う

③  
児童の日常生活に  
密着した題材

### ①意味のある、生きたコミュニケーション

(1) 覚えるだけの英語学習とはならないようにしています。

本教科書は場面シラバスで構成されており、文法指導中心の教え方とはならないように配慮してあります。新出の英語表現は使う必然性を持たせ、児童がやりとりしたいと思える活動を通して無理なく身につけます。



#### Lesson 8 What would you like?

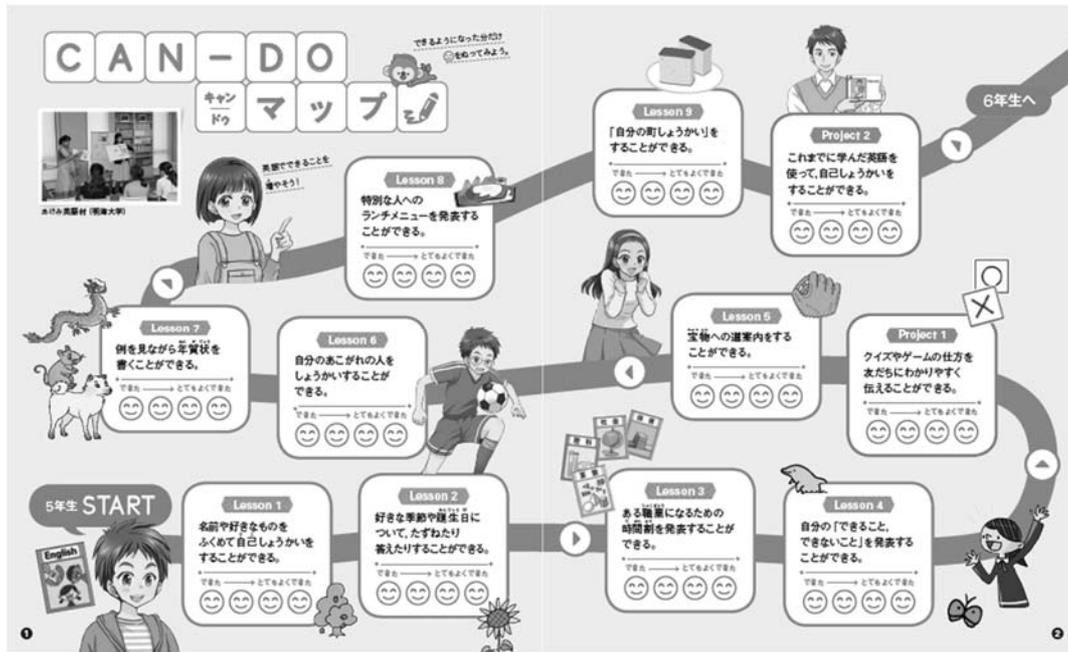
料理を注文する表現 (What would you like?) は「誰かのためのスペシャルメニューを作る」という活動の中で、機械的なやりとりにならないようにすることで自然に身につけられるように工夫しました。

(2) 協働的な活動を数多く設定しています。

ペアやグループで行う活動を数多く設定し、児童同士が教え合い学び合う中で生きたコミュニケーション活動が行えるように配慮しています。

(3) 「CAN-DO マップ」で何ができるようになったかを一目で確認できるようにしています。

教科書冒頭には見開きで「CAN-DO マップ」を設け、学年のはじめに児童が各課でどのような活動に取り組み、どのような能力が身につけられるようになるのかを明示しています。



5年生 CAN-DO マップ

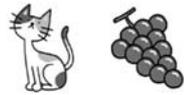
## ② 「読むこと」「書くこと」の基礎を養う

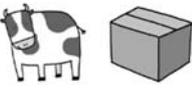
(1) 「文字に慣れよう」のコーナーで「読むこと」「書くこと」を系統的に学習します。

教科書後半には「文字に慣れよう」というコーナーを設けました。「音と文字の関係」や「アルファベット、文の書き方」などを段階的かつ系統的に学習することで無理なく読み書きができるようになります。

① 2つの単語を聞いて、はじめの音が同じだったら○を、ちがっていたら×を( )に書こう。

例

1.  ( × )      (   )

2.  (   )     3.  (   )

**文字に慣れよう Project 1**

単語のはじめの音に気をつけよう。

ここでは単語を聞いて、アルファベットの音を判別する活動を行います。

「文字に慣れよう」では、アルファベットには文字の「音の読み方」と「名称の読み方」があることを学習することができます。

(2) 通常課の中にも題材に深く関連した「読む」「書く」活動を設定しています。

通常課にもLet's Read and ThinkやLet's Read and Writeのコーナーを設けて、題材に深く関連した内容を「読み」「書き」できるようにしました。

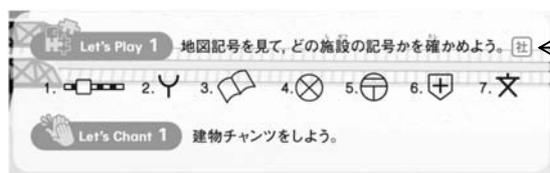
## ③ 児童の日常生活に密着した題材

(1) 児童の学校生活に即した題材を配列しています。

題材の配列は児童の学校生活カレンダーに合うように組んでいます。児童の興味・関心に沿った学習を展開することができます。

(2) 他教科に関連した活動を組み込んでいます。

他教科との横断的な学習ができる活動を設定しました。該当箇所には教科マークを置き、どの教科と関連しているのかが一目でわかるようにしています。



社会科との関連を示しています。  
このほかにも国語や図画工作などの教科との関連がある活動を用意しました。

2. 対照表		
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ番号)
全体	5年生では身近な社会とのかかわりを意識することから始めることで幅広い知識と教養を身につけられるようにしました。(第1号, 第5号)	全巻
Lesson 1 Nice to meet you.	自己紹介を名刺交換の活動で行うことにより,これから始まる英語学習で他者と関わっていく重要性の素地を養います。(第3号)	p.6~p.11 p.82~p.83
Lesson 2 When is your birthday?	季節と月の言い方を身近な日本の行事などと結びつけて身につけるとともに,友だちと誕生日をたずね合うことで他者との関わりを重視できるようにしました(第3号, 第5号)	p.12~p.17 p.84~p.85
Lesson 3 What do you have on Mondays?	曜日と教科の言い方を身近な時間割を題材に学ぶとともに,自分が将来なりたい職業につくためのオリジナルの時間割を作成することで自律的に学習に取り組むことができます。(第2号)	p.18~p.25 p.86~p.88
Lesson 4 Can you do this?	自分や家族のできること,できないことを発表できるようにすることで,主体的に自分のことを紹介できるように配慮しました。(第2号)	p.26~p.32 p.89
Project 1 パーティーを楽しもう。	これまでに学習した学習事項を駆使して友だち同士でクイズやゲームを出し合うことで,協働的かつ主体的に楽しく学習することができます。(第3号)	p.33~p.37 p.90~p.93
Lesson 5 Where is your treasure?	道案内で使う表現を学習し,自分が決めた宝箱への道案内をすることで,実生活でも英語で道案内ができる素地を養います。(第3号)	p.38~p.47 p.94~p.95
Lesson 6 My Hero	登場人物たちのヒーローについて読み,児童自身のヒーローは誰かを考えて発表することで,他者を認める気持ちを育てます。(第3号)	p.48~p.55 p.96~p.97
Lesson 7 Happy New Year	十二支の物語を英語で読むことで我が国の文化を英語で知ることができます。また,年賀状を英語で書くことによって,海外に自国の文化を発信する素地を養います。(第5号)	p.56~p.59 p.98~p.101
Lesson 8 What would you like?	英語で料理を注文する際の表現を身につけ,誰かのための特別なメニューを自主的に考えて,メニューを完成させることで他者を尊重する意識を養成します。(第1号, 第3号)	p.60~p.67 p.102~p.103

Lesson 9 I love my town.	自分が住む地域の名産物や自然を紹介をすることで、郷土愛を育みます。(第4号, 第5号)	p.68~p.74 p.104~p.105
Project 2 自分のことを伝えよう。	1年間学習してきたことを使って、レベルの高い自己紹介をすることで、自己肯定感を高めます。また、自己紹介を受けて友だちとやりとりをすることで他者を改めて認める意識を養います。(第1号, 第3号)	p.75~p.79

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本書は、上記の記載事項以外にも、教育基本法第5条及び学校教育法第21条に示されている、義務教育の目的や目標を達成できるように以下のような特色を設けました。

#### (1) 我が国と郷土を尊重するとともに、他国も尊重し、国際社会に寄与する意識を育てる構成

5年生では主に身近な社会との関わりを意識することを全体のテーマとし、「自分の町紹介」などの活動を通じて、我が国と郷土を尊重する意識を育成します。また、児童が活動する際の手助けとなるように地域的な題材を数多く配しました。

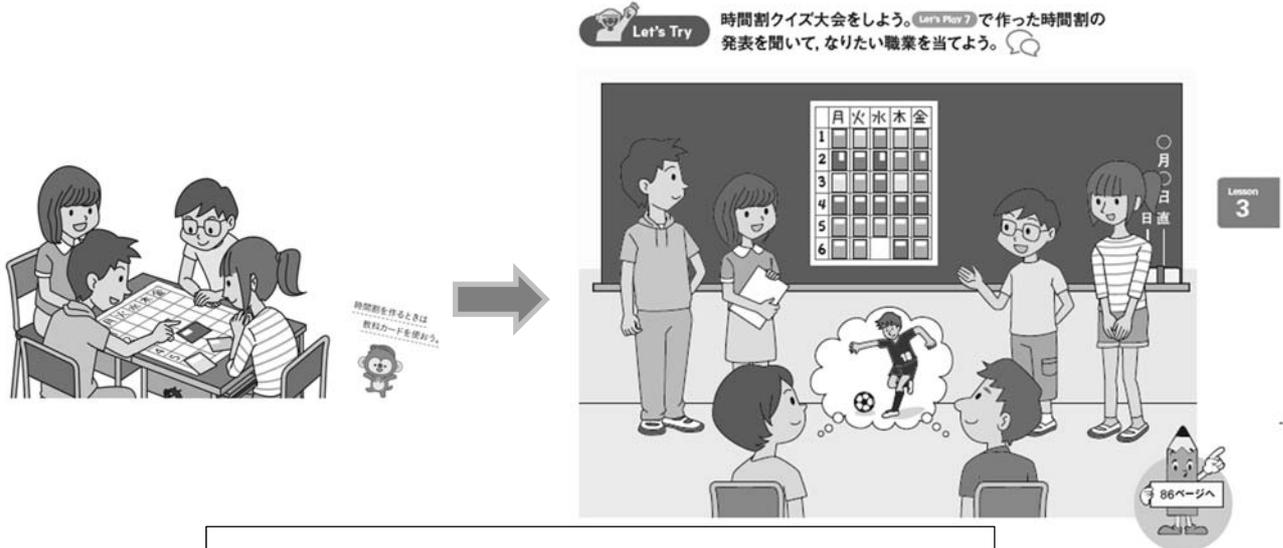


**Lesson 9 I love my town.**  
「自分の町紹介」を通じて、児童が暮らしている町への郷土愛を高めます。  
Lesson 9の終わりには「自分の町紹介」のモデルになるポスター例を掲載しました。本書ではこのような地域題材を数多く掲載しており、全国の児童が興味・関心を持って学習を進められるように配慮しています。



(2) 児童が自分の将来について考えることができる題材

5年生では将来なりたい職業につくための時間割を考える活動を入れてあります。英語でなりたい職業を考えて表現することによって、将来児童たちが国際社会で活躍できるような素地を養うことができます。5年生の段階ではグループで発表活動をする事により、6年生になって個人で将来の夢を考える際に無理なく考えられる素地となるように配慮しました。



**Lesson 3 What do you have on Mondays?**  
 5年生ではグループで準備、発表活動をすることで無理なく将来について考えることができます。

(3) すべての児童が学習しやすい紙面づくり

カラーユニバーサルデザイン、特別支援の観点でも十分な配慮をしてあります。識別しづらい色遣いは避けることや、文字の大きさを極力大きくする、児童の記入欄には罫線を用いるなど、すべての児童が無理なく学びやすい紙面づくりを目指しました。また、活動の並べ方にも配慮し、児童も教師も授業の流れが一目でわかるように配置しました。

また、「文字に慣れよう」のコーナーでは、鉛筆で書きやすく消しゴムで消しやすい特別な用紙を使用することで学習が円滑に進むように配慮しました。



**5年生を終えて**  
 児童が記入する欄には必ず罫線を用いるなど、児童が学習を進めるうえで迷いが生じないように配慮しました。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-111	小学校	外国語	英語	第5学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
9	英語 503	Junior Sunshine 5		

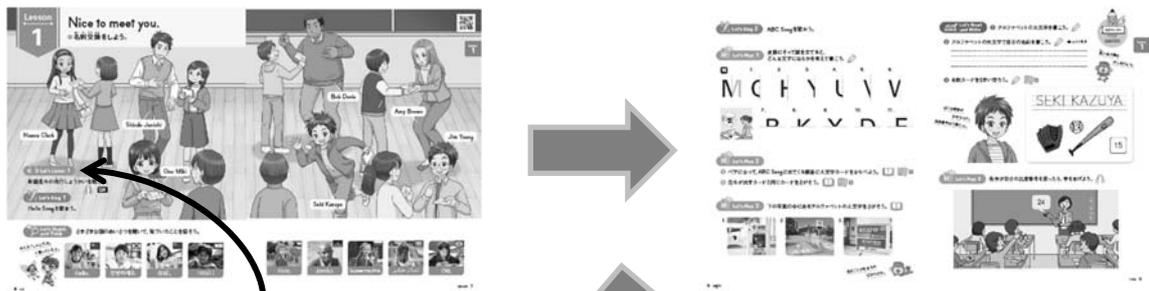
## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

小学校学習指導要領 外国語 英語の目標を達成するために、以下のような特色を持たせました。

### (1) 導入の Let's Listen から出口の Let's Try に向けた段階的でスパイラルなわかりやすい構成

すべての課の冒頭に、その課の出口を見通せるリスニング活動を置きました。また、課の出口である Let's Try に向けて、ターゲットになる英語表現を使った活動を段階的にくりかえし設定し、無理なく出口のアウトプット活動ができるように各課を構成しました。

また、1ページにつき配当時数を1時間とするページ構成を原則としました。指導者も学習者である児童もその課で、またその時間で何を学習するのかが一目でわかる紙面構成になっています。



**Lesson 1 Nice to meet you.**

各課冒頭の見開きでは課の内容が一目でわかるようなイラストや写真を配置しました。

最初のLet's Listenでその課の出口をイメージできるリスニングをします。

課のゴールのLet's Tryではこれまでに学習してきたことを駆使して自己表現活動をします。

## (2) 児童の思考力, 判断力, 表現力を高める工夫

各活動では児童の思考力, 判断力, 表現力を高める工夫を随所に凝らしています。各課で必ず友だち同士で話し合えるようにペアワークやグループワークを設けました。また, 実際に英語を身体で表現したらどのようなかを考えさせるなど, 児童が主体的かつ自律的に, 英語を使って物事を考えられるようにしました。



### Lesson 9 I love my town.

形容詞の意味は日本語と対応させて学習するだけでなく, 身体を使って表現するとどのようになるかを考えて身につけさせます。

## (3) 小・中連携の強化

中学校に進学した際に, 英語学習でつまづかないような様々な工夫がしてあります。

「読むこと」「書くこと」でつまづかないよう, 各学年に「文字に慣れよう」という特設コーナーを設けました。ここでは, 音と文字の関係や英語で書くときの基礎的なルールを段階的かつ系統的に, 本課と並行して丁寧に学習することができます。また, 基本的に1時間分を3項目に分けてありますので, 短時間学習にも適用できます。

# 文字に慣れよう

Lesson 1	大文字を書こう。.....	82
Lesson 2	大文字の形に気をつけよう。.....	84
Lesson 3	小文字を書こう。.....	86
Lesson 4	小文字の形を確かめよう。.....	89
Project 1	単語のはじめの音に気をつけよう。.....	90
Lesson 5	単語を書き写そう。.....	94
Lesson 6	大文字, 小文字のルールを知ろう。.....	96
Lesson 7	大文字と小文字の関係をまとめよう。.....	98
Lesson 8	単語を読もう。.....	102
Lesson 9	ゲームをしよう。.....	104

5年生「文字に慣れよう」目次

#### (4) 児童が「読み」「書き」しやすい書体の開発・採用

英語の文字を初めて「読み」、「書く」ことに慣れ親しむことになるため、手書きの文字に近い書体を開発・採用しました。また、英語の4線の幅を4:5:4の間隔にすることで、児童が間違えやすく、書きづらい小文字をしっかりと丁寧に「読み」「書き」できるように配慮しました。また、基線(第3線)を太い青色で表示して色覚特性のある児童に配慮しました。

A B C D E F G H I J K L M

N O P Q R S T U V W X Y Z

4線の幅は4:5:4とし、小文字を書きやすくしてあります。

a b c d e f g h i j k l m

n o p q r s t u v w x y z

小文字の形は楕円を使うことで、手書き文字に近くしてあります。

#### (5) 自律的学習者を育てるふりかえり

各課の学習が終わるごとに必ず「ふりかえり」の欄を設けてあります。その課でどのようなことを学習し、身につけることができたのかをふりかえることができます。児童自身で学習をふりかえることにより、主体的、自律的に学習に取り組むことができます。

「ふりかえり」の欄はどの児童も短時間で記入することができるように、3つの観点に沿ってマークを塗る形式としました。また、巻頭のCAN-DOマップとも対応していますので、1年間を通して各課でどのようなことができるようになったのかをいつでも確認できるようにしています。

🔍 ふりかえりをしよう 🖍️ めってみよう!

できた → とてもよくできた

1 アルファベットの大文字で自分の名前を書くことができた。	😊😊😊😊
2 名前や好きなものをふくめて自己しょうかいをすることができた。	😊😊😊😊
3 友だちにわかりやすく自己しょうかいをしようとした。	😊😊😊😊

児童が、どれだけできるようになったかを自分で塗ることで、一目で学習をふりかえることができます。

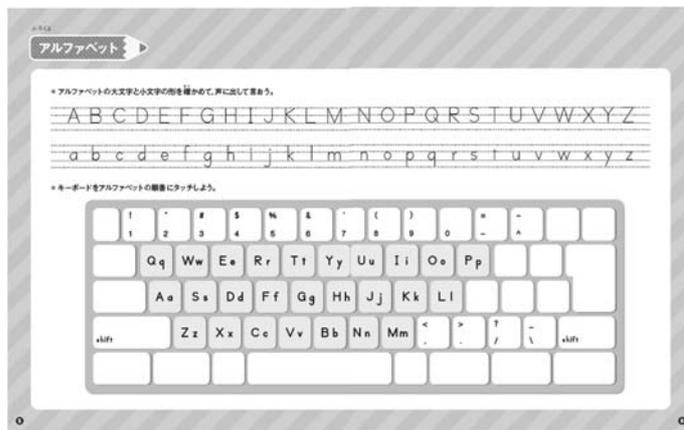
Lesson 1 Nice to meet you. ふりかえり

## (6) 学習を円滑に進めるふろく

巻末にはふろくとして8枚の「絵カード」、「ローマ字表」、「アルファベット」を掲載しました。様々な活動で「絵カード」を使用することで、身体を使いながら効果的に学習を進めることができます。また、開きやすい巻末に「ローマ字表」「アルファベット」を配置することで、児童が読み書きする際にすぐに参照できるように配慮しました。



ふろく4 絵カード



ふろく6 アルファベット

## (7) プログラミング的思考を育てる教材

Lesson 5 の最後には道案内を題材にプログラミング的思考を育成する活動ページを設けました。指示ブロックを並べてどのような結果が得られるのかを英語を使いながら検証することにより、基本的なプログラミング的思考を身につけることができます。



Lesson 5 Where is your treasure?

## (8) 「特別の教科 道徳」との関連

「特別の教科 道徳」に示された、親切、友情、公平、伝統文化、国際理解などに資する題材、活動を全課にわたって意識して配置しました。

## 2. 対照表

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Lesson 1 Nice to meet you.	(1)ア・イ・ウ・エ, (2)ア, (3)①ア・イ・ウ・オ, (3) ②ア・イ, 3(2)ア・イ・ウ・エ・オ・カ	p.6~p.11 p.82~p.83	4
Lesson 2 When is your birthday?	(1)ア・イ・ウ・エ, (2)ア, (3)①ア・イ・ウ・オ, (3) ②ア・イ, 3(2)ア・イ・ウ・エ・オ・カ	p.12~p.17 p.84~p.85	6
Lesson 3 What do you have on Mondays?	(1)ア・イ・ウ・エ, (2)ア・イ, (3)①ア・イ・ウ・ エ・オ, (3)②ア・イ, 3(2)ア・イ・ウ・エ・オ・ カ	p.18~p.25 p.86~p.88	8
Lesson 4 Can you do this?	(1)ア・イ・ウ・エ, (2)ア, (3)①ア・イ・ウ・エ・ オ, (3)②ア・イ, 3(2)ア・イ・ウ・エ・オ・カ	p.26~p.32 p.89	6
Project 1 パーティーを楽しもう。	(1)ア・イ・ウ・エ, (2)ア, (3)①ア・イ・ウ, (3)② ア・イ, 3(2)ア・イ・ウ・エ・オ・カ	p.33~p.37 p.90~p.93	8
Lesson 5 Where is your treasure?	(1)ア・イ・ウ・エ, (2)ア・イ, (3)①ア・イ・ウ・ エ・オ, (3)②ア・イ, 3(2)ア・イ・ウ・エ・オ・ カ	p.38~p.47 p.94~p.95	8
Lesson 6 My Hero	(1)ア・イ・ウ・エ, (2)ア・イ, (3)①ア・イ・ウ・ エ・オ, (3)②ア・イ, 3(2)ア・イ・ウ・エ・オ・ カ	p.48~p.55 p.96~p.97	6
Lesson 7 Happy New Year	(1)ア・イ・ウ・エ, (2)ア・イ, (3)①ア・イ・ウ・ オ, (3)②ア・イ, 3(2)ア・イ・ウ・エ・オ・カ	p.56~p.59 p.98~p.101	6
Lesson 8 What would you like?	(1)ア・イ・ウ・エ, (2)ア, (3)①ア・イ・ウ・エ・ オ, (3)②ア・イ, 3(2)ア・イ・ウ・エ・オ・カ	p.60~p.67 p.102~p.103	8
Lesson 9 I love my town.	(1)ア・イ・ウ・エ, (2)ア・イ, (3)①ア・イ・ウ・ エ, (3)②ア・イ, 3(2)ア・イ・ウ・エ・オ・カ	p.68~p.74 p.104~p.105	6
Project 2 自分のことを伝えよう。	(1)ア・イ・ウ・エ, (2)ア・イ, (3)①ア・イ・ウ・ エ・オ, (3)②ア・イ, 3(2)ア・イ・ウ・エ・オ・ カ	p.75~p.79	4
		計	70